鳥栖公民

第11号　昭和31年2月1日　発行

発行所　鳥栖市中央公民館　佐賀県鳥栖市（電話534番）

発行人　原口一郎　編集人　佐藤真見　印刷人　伊原和郎

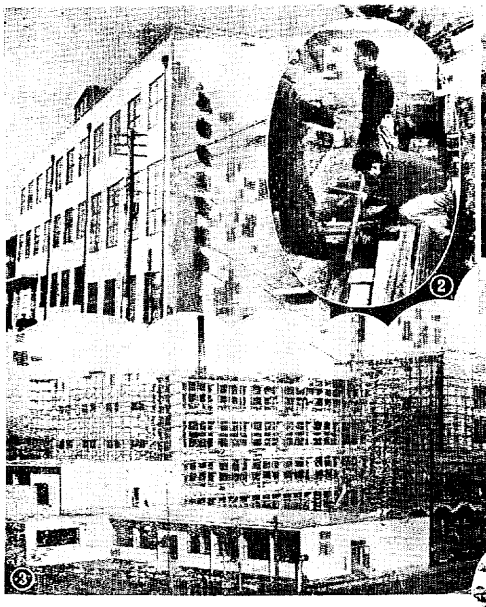
今月のことば

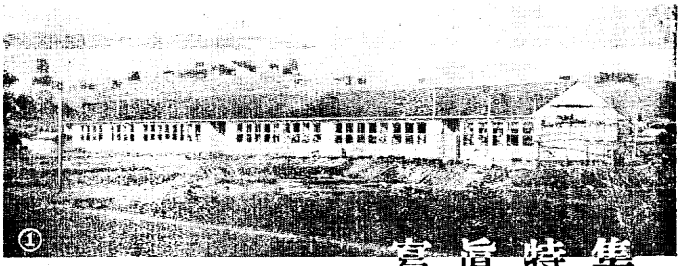
▲きさらぎ・梅見月。市では三十一年度の予算審議の本格化と共に、来月中旬開会予定の今年度の最終市議会準備に忙殺される。十二日の旧正月を境に寒さもまだ厳しいが、節分（四日）立春（五日）の声を聞くとやはり早春の氣配が感ぜられる。新人スキー訓練（大山・山岳会）や薄雪祭、洗心寮慰問（田代地）なども行われ、下旬に入れば愈々春も遠くなってくる。

指の標識

★特別滯留地域　浮浪法（昭和二十九年七月法律第七十二号）に基き、同年八月縣知事から指定された。市指定地の住宅、神社に勿論空地や川、下水など滯留に保持を目的とするもので、この地域内にゴミや汚物を捨てると罰せられる。市内では、高木、高山、安楽寺を除く鳥栖市域と、基里町の曽根崎、松原、櫻町、田代町は昌町、新町、上町、外町、下町の五町を指定。

このほか、愛宕山、内子が峯、お手洗の湯、四阿屋の四ヵ所を、毎年七月から九月まで「季節的滯留地域」として指定している。





寫眞特集

①基里中学校の竣工近し

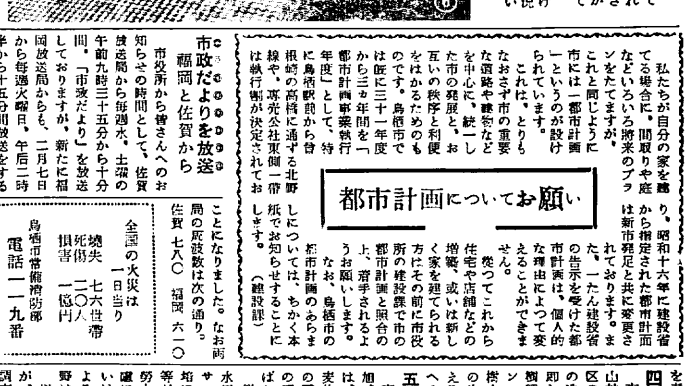
昨年十月に着工した基里中学校舎は既に第一期工事（七教室、職員室ほか宿直、小使室）約三百坪をほぼ完成、現在第二期工事の三教室を急いでいるが竣工は三月末の予定。

②自動改式工事始まる

昭和二十三年鳥栖郵工会議所に端を発した自動電話改式問題は同二十八年八月、鳥栖、田代地区の電話各併と改式の要請となって正式にとり上げられ、三十年九月には、期成同盟会の結成をみ、今日まで官民一体の努力が続けられてきたが、このほど改式にようする二千五百万円の社債引受けによっていよいよ自動電話々の実現も時日を待つのみとなった。工事は西部電氣の請負によって、既に局内工事が進められ四月一ぱいに、鳥栖―久留米間の市外連絡ケーブルも入札を終り五月一ぱいには完成の予定である。

③鳥栖工場　才一期完成急ぐ専賣公社

四千余坪の煙草製造工場をはじめ庁舎、食堂など計画



（写真は昭和三十年四月水害における鳥栖市三島、於保甫一帯の冠水状況で、排水事業計画の一部となっている。）

④市道一部完成

起点の古野から祥辺の池に至る鳥栖―神辺線は総延長一村二百、このうち終点より居敷場までの五一米が、地元の熱心な協力によってこのほど一応完成をみた。道幅は八米、残部の予定線も今年度中に完成の見込みで特米は神辺―柚比を経て基山町に延びる市道の幹線となる。

⑤縣、市営住宅を着工

二課十六世帯を收容した舘田町の県営アパートは三十年度分で更に一棟八世帯が現在起工事を進めている。市営住宅としては、原口に分譲住宅十戸が、月日々々着工し四月に竣工の予定。田代町本村、麓町宿に五八戸が入札を終ったほか、新舘田に十八戸が近かく入札着工の予定である。

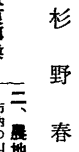
⑥常習水害田畑の改良

田関鳥栖市のガンは、何といっても千町歩に及ぶ常習水害田畑。これによって毎年二万石前後の米がわざわいされている。大事業ではあるがこの土地改良は現下の鳥栖市としては緊急の問題である。

（写真は昭和三十年四月水害における鳥栖市三島、於保甫一帯の冠水状況で、排水事業計画の一部となっている。）

鳥栖市農業振興綜合計画のあらまし

農林課長　杉野春市



年頭に当りまして、市産業の振興としての、鳥栖市農業綜合計画の一端を述べたいと思います。

まず、計画の樹立に伴い土地改良、農地開発、農業生産、林道造成並びに山林の樹地化、副業の奨励、計画等を專門的に調査を実施し、以て綜合的な計画により、その実現に邁進して、市の農業の発展を期せんとするのであります。限られた紙面はございますが、その内容について簡単に述べてみますと、

一、土地改良事業

鳥栖市の耕地の大半を占める千町歩の湛り水地帯（旭、鳥栖、基里各町内）の千町歩の排水事業、国営事業予定の佐賀県東部地区の客土事業（性質の異なる土を混入して、在来の土の性質を改良すること）が主体で、このほか小規模な事業として、市内各地の暗きょ排水（排水などのために地下に設けた溝）農道の新設並びに補強、井せき、樋門の改築、水路のコンクリート化など

二、農地開發

市内の山林、原野で開拓の適地條件に適合する地区が数十町歩あり、この開発を推進すると共に、旭町地区にある数町歩余の池沼に用水源の確保をまって、埋立事業を行い水田化する。今后この計画に伴なう調査を、引いてはその実現について、関係者が万全の努力を拂わなければならないことは勿論、より一層の市民の皆さんの御協力と御支援を願うものであります

三、農業生産計画

増産には先ず土壌の改良が必要であり、そのためには耕地の土壌調査を行って土壌を知ることで、耕種、施肥等の適切な指導を行わねばならない。なおこれに伴い、病害虫の防除計画の樹立により防除薬品代の資金化等を考究すべきである。

四、林野の緑地化

市内の一、八八〇町歩の山林、原野のうち、麓町地区の無立木地帯二六二町歩の造林により緑化をはかる即ち、この土壌に適合する植種を選び、茶、果樹、タンニンアカシヤ、その他の樹木を植えつけて、これ等の生産物の換金化（金にかえる）によって、農家経済への一助とする。

五、副業とらく農

市の平たん部地帯、即ち旭、鳥栖、基里町において、農業経営の形態が米、麦依存であって、今後農業の零細化に伴い特に農閑期の副業の奨励指導を計られねばならない。

例えば、蔺工品の奨励、水田の鶴作としての蔺栽や サフランの栽培、海苔の栽培による低地の高度利用化等があり、また、余じょう労力の利用も自給肥料を考慮に入れた養鶏、養豚、或いは原野の放牧地化利用による酪農等と開拓すべき分野は多い。

以上簡単でございましたが、今后この計画に伴なう調査を、引いてはその実現について、関係者が万全の努力を拂わなければならないことは勿論、より一層の市民の皆さんの御協力と御支援を願うものであります

市政だよりを放送

福岡と佐賀から

市役所から皆さんへのお知らせの時間として、佐賀放送局から毎週水、土曜の午前九時三十五分から十分間、「市政だより」を放送しておりますが、新たに福岡放送局からも、二月七日から毎週水曜日、午后二時半から十五分間放送をすることになりました。なお両局の周波数は次の通り。

佐賀　七八〇　福岡　六一〇

都市計画についてお願い

私たちが自分の家を建てる場合に、間取りや庭は新市発足と共に寄要求されております。また、一たん建設省の指示を受けた都市計画、個人的な理由によって変えることができません。

発ってこれから住宅や店舗などの増築、或いは新しく家を建てられる方はその前に市役所の建設課で市の都市計画と照合の上、溜手されるよう願います。

なお、鳥栖市の都市計画のあらまし根崎の高橋に通ずる北野線や、專売公社東側一帯は既に決定されておりますが、これと付帯して住宅地の区画整理、或いは新しく家を建てられる方はその前に市役所の建設課で市の都市計画と照合の上、溜手されるよう願います。

なお、鳥栖市の都市計画のあらまし根崎の高橋に通ずる北野線や、專売公社東側一帯は既に決定されておりますが、これと付帯して住宅地の区画整理、或いは新しく家を建てられる方はその前に市役所の建設課で市の都市計画と照合の上、溜手されるよう願います。

なお、鳥栖市の都市計画のあらまし根崎の高橋に通ずる北野線や、專売公社東側一帯は既に決定されておりますが、これと付帯して住宅地の区画整理、或いは新しく家を建てられる方はその前に市役所の建設課で市の都市計画と照合の上、溜手されるよう願います。

（建設課）

全国の火災は

一日当り

焼失　七六世帯

死傷　二〇人

損害　一億円

鳥栖市常備消防隊

電話　一一九番

フランス式婦人車　ツーリストモデル　（純スポーツ車）　18,800円　6カ月拂　18,800円

鐵鋼製　全週転部防水式

山口の自轉車

代理店・酒井治商店・鳥栖新町・TEL435番

会場に溢れる受講者
市内三地區で青年学級

市中央公民館では、かねて要望のあった青年学級の開設について準備を進めていたが、このほど島栖、高二四人（男三六五、女四五）で、昨年の六五四人に比べると一七〇人の増加となっている。

なお式後、市役所どんぐり会所属の成年者たちは、川の四部落百二十名が高田分校で、同十八日には旭町内の百名が旭公民館でそれぞれ開校式を挙げた。

はいづれも毎週二回、午后七時から十時までを農業問題をはじめ、時事、社会そのほか各般にわたる教科を修得しようとするもので、四月末日まで合計時間が設けられているが、熱心に足らず会場に溢れる者もあり終始熱心に聴講していた。

（写真は、熱心に講義を聞く青年学級の受講者たち高田分校で）

はじめ、多数の関係者が出席して盛大に挙行されたが、今年度中に達したのは八重の一部と旭地区について比べると一七〇人の増加となっている。

則ち、去る一月十二日には高田、安楽寺、赤

市民の声

火災報知に考慮を

火災の際に吹鳴が、火災の発見が実際は市外であるにかかわらず市内と市外の場合するサイレンは、ことにして区別して鳴らすことにしてもらいたいと思います。

また、消防自動車が出動する際は、火事の場所を拡声機で知らしてもらえばなお結構です。（元瓜生町、町田守）

◇　◇

火災の度に鳴らすサイレンについては、皆さんに若だ御迷惑をおかけしていることと存じます。

消防の活動範囲は市内全域で、市外の場合にはサイレンは鳴らしておりません。

なるべく御要望に副いたいと思います。（消防係）

×　×

道の真中に電柱

東町保育園広場の路面附近の道路が、廣くなった関係で、今まで道端にあった電柱二本が道の真中に立っていて、通行上邪魔になっていますので至急移転方お取計らい下さい。（東町K生）

◇　◇

これは、以前の鉄道用地であった部分が、鉄道側の厚意によってそれだけ道幅が広くなった関係ですが、この用地を市に譲り受けて

内々としては電話などで報告された場合は、実際を確認する余裕がありませんので、後で間違いであったことが一件あります。

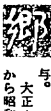
二点については、出動の順路だけは大声でお知らせしておりますが、急を要する場合のこととて行届かぬ場合もあると思いますが、なるべく御要望に副いたいと思います。（消防係）

×　×

頂くよう現在鉄道側に申請中で、許可次第移転します（庶務課）

郷土の知名人 ③

新潟大学名誉教授 橋本 たかし氏（島栖町）



大医科を卒業後大正十年東京帝国大学に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

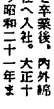
大正十四年から昭和三年まで東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年まで東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

新内外綿株式会社 取締役社長 松雪幸三郎（嘉里町酒井東）



明治学校を経て旅順工大機械科を卒業後、内外綿株式会社へ入社、大正十三年より昭和二十一年まで東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

橋本 たかし氏（島栖町）

大医科を卒業後大正十年東京帝国大学に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

橋本 たかし氏（島栖町）

大医科を卒業後大正十年東京帝国大学に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

島栖市の成年者 八二四人を祝う

島栖市の成年者を祝う成人式は、去る十五日島栖高校で成人該当者約六百名を

大医科を卒業後大正十年東京帝国大学に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

新内外綿株式会社 取締役社長 松雪幸三郎（嘉里町酒井東）

明治学校を経て旅順工大機械科を卒業後、内外綿株式会社へ入社、大正十三年より昭和二十一年まで東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

橋本 たかし氏（島栖町）

大医科を卒業後大正十年東京帝国大学に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

橋本 たかし氏（島栖町）

大医科を卒業後大正十年東京帝国大学に入る、その後千葉医専教授、南満州医学堂教授を経て昭和三年学位授与。

大正十四年から昭和三年

新内外綿株式会社 取締役社長 松雪幸三郎（嘉里町酒井東）

明治学校を経て旅順工大機械科を卒業後、内外綿株式会社へ入社、大正十三年より昭和二十一年まで東京帝国大学耳鼻科皮膚科教室